

学級経営について

令和5年4月4日（火）

研究主任 甲斐

1. 令和5年の方向性

今年度も、H27年度から積み上げてきた取組（フリートーク・ほめ言葉のシャワー・価値語・成長ノート）を継続して取り組んでいく。今年度は校内研究において、定期的に取り組状況の確認や共有、改善策等を協議するとともに、4つの取組をさらにブラッシュアップさせ、相互に関連付けながら実践し、児童が互いに相手を大切にする心を持ちながら、児童自らの力で互いを高め合い、豊かなコミュニケーション活動を行う土台を育む人間関係を育成し、個々の児童の自発的な成長につなげていきたい。

また、昨年度の総括では、「自己他者肯定感テスト」において「自己・他者肯定群」に位置する児童が年間3回平均82%と、検証指標の目標を達成することができた。年間を通じて、各学級担任が、取組の意義を確認したり取組を見直したりすることで活動が高まり、自己肯定感の高まりや学級の受容的な雰囲気作りにつながった。今年度もこの点において更に検証するとともに、学校評議委員や指導主事などを招聘し、外部評価も取り入れながらマネジメントしていく。

2. 5点セット

校内研究テーマ	<u>グローバルリーダーに求められる確かな学力の育成</u> ～情報活用能力の育成～（1年次）
重点目標	豊かなコミュニケーション活動の土台を育む人間関係の醸成
達成指標	(1) 「自己・他者肯定感テスト」において、「自己・他者肯定群」に位置する児童が全体の82%以上
重点的取組	(1) 4つの取組のブラッシュアップ及び相互に関連付けた取り組み ①フリートーク ②ほめ言葉のシャワー ③成長ノート ④価値語
取組指標	(1) 4月の研修で、4つの取組を相互に関連付ける取り組みについて、昨年度までの取り組み例を伝え合ったり、昨年度までの課題を確認したりして、今年度の取り組み方について共通理解する。8月の研修で、学年ごとに7月までの成果と課題をまとめ、後期に向けてブラッシュアップする。 ①4月にフリートーク公開・事後研を行い、フリートークのねらいや取り組み方について、共通理解をする。研修にて各学級の取組について振り返り、改善していく。 ②ほめ言葉のシャワーについて、6月の研修でねらいや取り組み方について共通理解し、6月以降に実施していく。後期の研修で、各学級での取り組み方（1巡目・2巡目のやり方、板書の仕方、教室掲示等）を持ち寄ったり課題や困りを出し合ったりし、改善していく。 ③成長ノートは、4月の研修で共通理解をし、各学級で実施する。主に行事や節目の時に、自分の取組を振り返り、付けた力を自覚できるようにしたり、次の目標を持たせたりする。目標に向け、自分の達成具合が分かるように、継続して書かせる。8月の研修で、気になる児童や変容の見られる児童の成長ノートを持ちより、「いつ、どんな内容で書かせたか、それをどう活用したか」など、意見交流し、後期の取り組みにつなげていく。

	<p>④価値語は、4月の研修で共通理解をし、各学級で実施する。8月の研修で教室掲示を持ちより、「どのようなつくり方や位置づけ方が効果的か」などについて意見交流し、後期の取組につなげていく。</p> <p>※ 必要に応じて、学年部において、朝の会観察シートの視点をもとに、共通理解を図りながら改善を図る。状況に応じて後期は、指導教諭等により朝の会を中心とした学級の参観を依頼し、「朝の会観察シート」等により自己評価を行い、改善していくよう指導・助言を受ける。</p>
外部評価	学校評議委員や指導主事等を年間2回程度招聘し、状況を確認及び評価していただく

3. 4つの取組の年間計画

相互に関連付けながら取り組んでいく
(行事・集会での話・学級活動等)

	フリートーク (朝の会)	ほめ言葉のシャワー (朝の会)	成長ノート (キャリアパスポート)	価値語
4月	研修で共通理解実施		研修で共通理解実施	研修で共通理解実施
5月	学年内で互いに見合う			
6月		研修で共通理解実施		
7月				
8月		一巡目	気になる児童や変容の 見られる児童の成長 ノートを持ちよる	教室掲示を持ちよる
9月				
10月				
11月	研修：各取組の進捗状況の確認・成果・課題			
12月				
1月		二巡目		
2月				
3月				

県の改善の重点を受けた授業研究について

令和5年4月4日（火）

研究主任 甲斐

2. 令和5年の方向性

令和元年度より「平成31年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点」を受け、本校における現状と課題、及び改善を図るための具体的な取り組みについて、各教科で検討し、これをもとに授業公開を行ってきた。今年度は、令和5年度の改善の重点に沿って、各教科の取組を再度見直し、本校の提案を早く県下へ発信する意図から、5月30日、6月6日、6月13日、6月20日、6月27日、7月4日の6日間で全教科・領域計13本について、各教科担当により県の重点課題を受けた「授業公開」を実施する。県下の公立校へ周知・公開し、広く参加・参観（授業・事後研共）を受け入れる。大分県教育センターのフォローアップ研修で公開する5教科（国語科、理科、生活科、図画工作科、外国語活動・外国語科）の授業動画撮影は、5～7月の授業公開と併せて実施する。また、「外国語セミナー」（11月25日）などを通して、授業研究を積み、個々の授業力を高めていくとともに、公立学校にモデルを示したり授業作りについて一緒に考える場を持ったりすることにより、本校の使命を果たしていけるようにする。

なお、校内研究テーマとの関連を図るため、事後検討会においては、「情報活用能力の育成」の視点から討議を行うようにし、「各教科の改善の重点」については議論の材料として取り扱うようにする。

2. 5点セット

校内研究テーマ	<u>グローバルリーダーに求められる確かな学力の育成</u> ～情報活用能力の育成～（1年次）
重点目標	県による「各教科の改善の重点」を具現化した各教科の授業の構築と授業公開
達成指標	① 令和5年度小中学校教育課程研究協議会（12月）にて、レポート提出及び本校作成の単元及び授業プランを、授業公開等を通じて発信 ② 指導教諭等による評価の平均が3.0以上
重点的取組	①県による「各教科の改善の重点」の分析、また本校の課題及び具体的な取組を明確にし、それを具現化した授業づくりと授業公開を行う。 ②指導教諭等による授業参観及び、指導教諭等による指導・助言をもとに授業改善を行う。
取組指標	①県による「各教科の改善の重点」を受け、教科ごとに再度分析しなおし、本校における現状と課題、及び改善を図るための具体的な取り組みについて、各教科で再検討し完成させる。それをもとに、日常的に授業実践していくようにする。 ① 5月～7月に、外国語を除く全教科計13本について、「授業づくりセミナー」を3日間で実施する。8月～2月は、月に1回の頻度で、「授業づくりセミナー」を実施する。外国語においては、11月に「外国語セミナー」を実施する。 ② フォローアップ研修で公開する4教科（国語科、生活科、理科、図画工作科）の授業動画撮影を行い、県下の公立学校へ周知・公開していく。 ②授業公開後は全体・教科ごとで事後検討会（指定討論形式）を行うとともに、

	指導教諭等は「授業観察シート」に沿って評価を行う。指導教諭等による指導・助言をもとに授業改善に生かしていく。
外部評価	学校評議委員や指導主事等（県教委義務教育課・大分教育事務所）を年間2回程度招聘し、状況を確認及び評価していただく

3. 研修計画

日時	内容	
4月4日	校内研究全体計画	今年度の授業研究について 新大分SD理論研修
4月5日		県の重要課題について、具体説明
5月30日	○外国語	新大分SD授業公開・事後研 フォローアップ研修動画撮影
6月6日	総合	新大分SD授業公開・事後研
6月13日	○国語・算数	新大分SD授業公開・事後研 フォローアップ研修動画撮影
6月20日	○生活・○理科・社会	新大分SD授業公開・事後研 フォローアップ研修動画撮影
6月27日	○図工・音楽・道徳	新大分SD授業公開・事後研 フォローアップ研修動画撮影
7月4日	特活・家庭・体育	新大分SD授業公開・事後研
11月25日	外国語セミナー	新大分SD授業公開・事後研
1月23日	生活・総合	新大分SD授業公開

○は、フォローアップ研修動画撮影教科

外国語活動・外国語科について

R5.4.4

外国語担当 廣瀬

1. 令和5年度の方向性

令和5年度も、これまでの取組を積み上げつつ、昨年度見えてきた課題の改善に向け、「重点目標、重点的取組、達成指標、取組指標、外部評価」のいわゆる5点セットを位置づけ、マネジメントしていく。

2. 5点セット

校内研究テーマ	グローバルリーダーに求められる確かな学力の育成 ～情報活用能力の育成～
重点目標	既存の知識や新たに習得した情報を活用して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育む授業の推進
達成指標	① 指導教諭による評価(4段階)が、1、2年目の教諭2.7以上、3年目以上の教諭3.0以上 ② 授業参観後のアンケートで、参観者の自校での活用に関する肯定的な回答の割合が6割以上
重点的取組	① 課題解決へ向けた授業づくり・互見授業の実施 ② 公立校への授業公開
取組指標	① について ・4～7月の校内研究において、これまで取り組んできた「漆塗りの授業の展開の仕方」、「児童の思考を促す適度な困りの設定(思考・判断・表現、主体的な学習に取り組む態度につながる目的・場面・状況の設定)」等について共通理解を図り、外国語部と学年部が連携しながら授業づくりを行う。また、昨年度指導を受けた項目「他の教科・領域との関連を見通した単元構想」や「評価の在り方について(中間評価も含む)」について、実際の授業を通して課題解決に取り組む。 ・外国語部と各学年部が連携し、指導案作り、授業づくりを行う。 ・前期までに、指導教諭・研究主任・外国語担当・学年部による互見授業を学年1名以上設定し、11月の外国語セミナーでの実践に繋げる。1月までに観察授業を全員行う。 ② について ・5月の授業公開では、外国語部が校内だけでなく地域の学校等に向け「他の教科・領域との関連を見通した単元構想」や「評価の在り方(中間評価も含む)」に関する授業を公開し、共通理解を図る。 ・外国語セミナー(11月25日)において、授業公開と事後研究会を行う(指導主事等や中学校に声をかける。)。また、ホームページにて動画配信を行う。 ・要請があれば、他校からの視察日を設定し、積極的に視察を受け入れたり、外部講師として出前研修等を行ったりする。
外部評価	・5月の授業公開においては、指導主事を招聘し、11月25日(土)に開催の外国語セミナーにおいて、直山木綿子視学官や指導主事を招聘し、本校の取組を評価していただく。 ・附属中入試後の1月に6年生のみ外部評価を行い、本校の6年間の実践の成果を図る。(昨年度から英検ESGを行っている) ・授業公開と外国語セミナーの事後アンケートを行う。

3. 研修計画

○研修時には、年間5回、10分程度の外国語スキルアップ研修を行う。

○5月に外国語部による提案授業を設定し、本校の外国語授業についてイメージを掴めるようにする。

○外国語セミナー(11月25日)において、事前授業や授業公開を実施する。(指導主事等や中学校に声をかける。)

○研修内容(案)

日時	内容
4月 4日	外国語 年間の取組について(外国語5点セット)
4月 5日	本校の外国語の取組説明

4月25日	本校の外国語の取組について
5月30日	授業公開①外国語 【年組】
6月6日	外国語スキルアップ研修①
6月19日	県の重要課題を受けた各教科の取組の説明(外国語)
7月18日	外国語スキルアップ研修②
8月1日	11月25日(土)外国語セミナーに向けた方向性全体提案
8月3日	外国語スキルアップ研修③
8月22日	前期のまとめ
8月29日	外国語セミナー指導案作成
9月27日	外国語スキルアップ研修④・外国語セミナー指導案審議
11月14日	外国語セミナー事前準備
11月21日	外国語セミナープレ授業【年組・年組・年組・年組】・事前準備
11月25日	外国語セミナー【年組・年組・年組・年組代表授業公開】
※年内	外国語に関するアンケート(対児童) ※実施については小中連携事務局会で相談
1月16日	外国語スキルアップ研修⑤
1月頃	6年生のみ 外部評価
2月27日	外国語 年間の取組について(外国語5点セット) 総括

4. 小中連携外国語事務局会について

- ・事務局会や互見授業・事後検討会を、年間を通して随時行っていく。
- ・小中共通したアンケートを実施する(要相談)。